

# ふるさと通信 Vol. 50

2015年3月

2月、上旬には激しい降雪もありましたが、おおむね落ち着いたお天気で、2日程前からようやく田んぼの畦が顔を出し始めました。田んぼが見えてくるといよいよ春がやってきたという実感が湧きますね。農場では味噌の仕込みや漬物等の加工品を作る作業と機械の点検整備等であっという間に時間が経ってしまった感があります。雪解けの遅いこの地域では、春に向けての準備期間がとても短いので、これからさらにめまぐるしく色々な作業を並行して行い、慌ただしい毎日が続きます。うっかりミスや怪我をしたりしないよう気を引き締めて、田植えに向けて頑張りたいです。



晴天の朝、世界は凍りつき、田んぼはキラキラ輝く無限のフィールドと化します。雪原を歩く「しみわたり」はとっても爽快でなんだかウキウキ！どこまでも歩いて行きたくなります！



ユウゴと地元の里山にキャンプに行きました。枯れた冬の雑木林は本当に美しいです。沢には清らかな雪解け水が流れ、田植えの時期には田んぼを満たしてくれます。自然の大切さを少しでも感じてくれたらいいな。



酒米の生産者として、東京獺祭の会に仲間と招待されました。

研修会も多かったです。新品種の試食等参考になりました。



今回のサービス品は、バアバ手作りの「旨辛赤とうがらし」です。7月位まで日持ちはしますが、薬味や調味料として当地の伝統食をお試しいただければと思います。こちらはインフルエンザが流行ってきました。寒暖差の激しい季節となりますので体調管理にはお気を付け下さい。今後ともよろしくお願いたします。

2015年3月1日 金谷 武志

日々の農作業の様子や地域の情報は、下記フェイスブックページ“有機栽培米の金谷農場”で発信中です！

<https://www.facebook.com/kanayafarm.jp>

ホームページ : <http://www.kanaya-farm.jp/>

Eメール : [info@kanaya-farm.jp](mailto:info@kanaya-farm.jp)